



三朝町議会 新体制決まる



みささ 議会だより

改選後の初めての議会が11月18日に開かれ、三朝町議会の新体制が決まりました。

第93号 平成25(2013)年 11月号 臨時増刊号

主な内容……議長・副議長あいさつ、常任委員長・
議会運営委員長あいさつ、各種委員の選出

新体制決まる

11月10日(日)の三朝町議会議員選挙で当選した12名の議員による初議会が、11月18日(月)に招集され、議長・副議長をはじめ、3つの常任委員会の構成等が決まった。

今回の選挙で12名の議員のうち、6名は新人議員。初登壇した議員には、事務局が議員バッジを胸につけ、やや緊張した面持ちで決意を新たにしていたようであった。また、議長には、山田道治議員、副議長に福田茂樹議員がそれぞれ選挙で選任された。



改選後の初議会の様子



次の時代につながる町づくりを

山田道治議長

この度、議長という重責を担うことになりました。二元代表制の一方の長として町政全般にしっかり目配りをしながら、町外にも目を向けた全方位的な視野を持たねばならないと考えています。

思うに時代の変化のスピードはかつてない程速く、前例通りということは考えなくて良かろうと思っています。

また全国的にそうではありますが、三朝町の諸課題の多くは「少子高齢化時代を迎える」という事実の中に答えが準備されていると思われます。

そしてわが町は「湯と山の町」であります。

このことの意味を十分に理解して、次の時代に繋がる対策を展開していく必要があることは言うまでもありません。

特に新しい感性を持った新議員の方が半数を占める議会となっています。町政に新風を吹き込んでいただけるものと期待しています。

いい時代にいい町に住んでよかったと言っただけの町づくりに、全議員が取り組みます。

御支援いただきますようお願い致します。



町のために町民みなさんのために

福田茂樹副議長

このたびの、三朝町議会初議会において、副議長の任を受けることになりました。

あらためて、町内の過疎化、高齢化を今回の選挙で体感し、一つの空き家対策ではなく、大胆な定住対策の必要性を感じたところです。大瀬等の成功事例を見ながら、考え実効すべし。と思うものです。

みささこども園の開園により、東小校区のこども園に通う保護者からの、西小への通学希望がよせられています。しかし、現制度では、実現できません。早急に教育委員会で議論して頂きたい。

観光面では、賑わいを取り戻しつつも、いまひとつ、経済対策の必要性を考えます。

今後の三朝町は、高度成長期に建設した建物等の、老朽化、耐震不足などで新たな投資が必要となってきました。過疎債などの使い方もじっくり検証しなければならないと思います。

いずれにしても、執行部に対して、しっかり、提案型の議論ができる議会でありたい。議長と共に議員の皆さんと共に努力していきます。

幸せを実感できる町づくりを提案



上段左から山口博委員、牧田武文委員、山田道治委員、中信貴美代委員
下段左から清水成真委員長、吉田道明副委員長

「愛のない経営が好ましくないように、愛なり慈悲の少ない政治は許されるはずがない。」これは、パナソニック(旧社名：松下電器産業)を一代で築き上げた経営者 松下幸之助氏の言葉です。今年、三朝町は、60歳の還暦を迎えました。来年は、三朝温泉開湯850年の記念すべき年でもあります。これから2年間、総務教育常任委員会は、このメンバーで運営をしていくわけですが、所管の課の諸課題について、自らが調査研究をして研鑽していかなければなりません。三朝町民の皆様一人ひとりが、幸せを実感できるそんな町づくりを提案していきます。そして、愛なり慈悲が、実感できるそんな政治をめざしていきます。

産業民生常任委員会

町民のために十分に議論を重ねる

産業民生常任委員会は、企画観光課・建設水道課・農林課・農業委員会・町民課・国民宿舎を所管とする、町民の皆様のご生活に密着した委員会です。本町は農業・林業の課題、観光客の減少等たくさんの方が山積みとなっています。

十分に議論を重ね、町民の皆様にご納得していただけるような施策を打ち出し取り組みたいと考えています。

町民の皆様のご生活が安定できるように委員一丸となって努力して参りますので、ご意見、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



上段左から能見貞明委員、福田茂樹委員、平井満博委員、池田雅俊委員
下段左から藤井克孝委員長、石田恭二副委員長

議会広報常任委員会

議会と皆さんをつなぐ広報紙を



上段左から能見貞明委員、福田茂樹委員、清水成真委員、
下段左から山口博委員長、池田雅俊副委員長

この度の三朝町議会議員の改選により、新たなメンバーで議会広報を担当することとなりました。

町行政の情報をお伝える「広報みささ」と私共が発行する「議会だより」では発行目的が多少異なります。

「議会だより」の使命は、議会活動の状況を公正、迅速に町民の皆さんにお伝えすることにあると考えます。

「議会だより」は、町民の皆さんの知る権利に応えると同時に町民の皆さんと議会をつなぐパイプでありたいと念じます。

そのために、町民の一人一人の皆さんに親しまれる紙面づくりに努めて参りたいと決意を新たにしております。

信頼される議会を目指す

議会運営委員会は、多数の議員で構成される議会を円滑にしかも効率的に運営するために、常任委員会とは別に置かれる委員会であり、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた機関であります。

三朝町議会では、議会改革の一環として、一昨年より変わる議会・信頼される議会を目指して議会報告会を行ない、今年は地域協議会のご協力のもと開催しました。

一定の評価を頂きましたが、運営上の問題点・改善点もご指摘がありました。町民皆様との距離を縮める努力を、議員全員と、委員の協力を頂きながら議会運営に取り組んでいきます。



上段左から藤井克孝委員、牧田武文委員、福田茂樹委員、
下段左から平井満博委員長、清水成真副委員長

監査委員の選出

初議会では、議員選出監査委員に牧田武文氏を選出した。

監査委員 就任にあたり



牧田武文監査委員

改選後初の臨時議会において選任され、監査委員に就任することになりました。

近年、地方自治体を取り巻く情勢は大変厳しく、また複雑化しております。このような中、監査が果たす役割はますます重要になっていると感じております。

和泉代表監査委員ならびに各議員のご指導を賜り、住民の視点を大切にしつつ、公平の態度で、適正な監査ができるよう努めてまいります。今後ともよろしく申し上げます。

広域連合議会議員

次の二つの広域連合議会の議員を指名推薦（全員の同意がある場合）の方法により選出した。

- ・鳥取中部ふるさと広域連合 議会議員 山田道治
- ・鳥取県後期高齢者医療広域連合 議会議員 山田道治

議会選出各種委員会委員

町の要請等により議会議員のうちから選任する委員については次のとおり。

- ・国民健康保険運営協議会 中信貴美代 石田恭二
- ・都市計画審議会 平井満博 山口 博
- ・民生委員推薦会 藤井克孝 石田恭二
- ・社会教育委員 山口 博
- ・人権同和教育推進協議会 中信貴美代 吉田道明
- ・路線バス利用協議会 清水成真 能見貞明
- ・消防審議会 吉田道明
- ・国民保護協議会 山田道治

おわりに ちよひつりけん

この度の町議会議員改選で新旧議員が各六名で議員構成は大きく様変わりしました。「議会だより」も新しい風を感じていただけるよう少しでも編集に工夫を加えていきたいと思っております。

「議会だより」でまず大事なことは、読者であります町民の皆さんに読んでいただける紙面づくりです。

そのためには町民の皆さんの声をお聞きすることも大切であると思っておりますので、忌憚のない声をお聞かせいただければ幸いです。

西洋のことわざに「新しい革袋に新しいワインを入れる」とあり、一方で孔子の言葉に「温故知新」があります。

新しいものばかりに気をとられるのではなく古き良きことにも目を向けることの大切さも必要であると考えます。

中立、中庸の心掛けを旨として紙面づくりに努めて参りたいと念願しております。皆様のご支援宜しくお願いします。
(山口 博)

発行責任者 山田 道治
議長 山田 道治
議会広報常任委員会
編集 山田 道治
委員長 山口 博
副委員長 池田 雅俊
委員 福田 茂樹
委員 清水 成眞
委員 能見 貞明